

# 親子でたこ揚げ

## 吾岡山の山頂で

早い公園化が望まれている吾岡  
山で一月十四日、吾岡保育園 佐

竹賢園長、百二十人の園児と  
保護者ら二百人が、親子でたこ揚



親子で楽しくたこ揚げ

げを楽しみました。

このたこ揚げ大会は今年で三回  
目になり、今まではそれぞれが手  
作りのたこを持ち寄り揚げていま  
した。しかし、若いお父さんやお  
母さんは、なかなか作り方もわか  
らず揚がらなかったり。そこで今  
回は市販のたこを使い、それ  
に子どもたちが思い思いに、人気  
マンガや言葉などを書きました。  
この日はあいにく風が弱く揚げ  
るのに一苦労。しかし、お父さん  
やお母さんの協力でやっと揚がる  
と、園児たちは大喜びではしゃぎ  
まわっていました。

浜改田保育園には、三人の障  
害を負った子供が通園し、障害  
を乗り越えようと一生懸命頑張  
っています。知恵遅れなどの重  
荷を背負った子供たちを見る  
と、少しでも障害を軽くして

### 障害児専用の登り台

やりたい、こんな思いから、  
この障害児専用の登り台を造  
りました。

この子たちは共通してハイハ  
イが出来ませんでした。一歳く  
らいまでの健康な赤ちゃんなら  
だれもがするハイハイが出来な  
いことは、発達の上で決定的な

妨げを作っていたのです。平らな  
所でいくら努力をしても、子供た  
ちをはわせることは出来ません  
でした。

そこで、高知大学の河添先生に  
相談して、登り台(幅二メートルすべ

一カ月くらいで平らな所でもはえ  
るようになり、腕の力もついて来  
て、このころは少し物が言えるよ  
うにまでなってきました。

障害児のお母さんたちと職員  
は、子供たちの障害を少しでも軽  
くしたいという気持ちで、毎週高  
知大学の河添教室に勉強に行っ  
ています。

り台用のもの)を造りましたが、  
健常児が喜んで遊ぶのみで、障害  
児の助けにはなりませんでした。  
ところが、その登り台に改良を加  
え柵を付けたところ、始めは怖が  
って登ろうとしなかった子供が、  
二カ月くらいで、なんとはえるよ  
うになったのです。そして、また

障害というからには、簡単なこ  
とでは良くなるはずもなく、保育  
園に預けるだけでのん気にはし  
ていられません。家庭ですべきこ  
とを習い、朝に夕に努力を続けて  
います。大変な毎日のはずですが、  
お母さんたちは「今までは子供の  
ために何をしてやったらいいの



元気に登る園児



「ご家庭で話し合って答えてく  
ださい。答えは、この広報に出  
ています。

■もんだい・黒潮博に参加する  
本市の「南国○○館」の起上  
式が、一月二十三日行われた。

■しめきり・2月15日

■あて先 〒783 南国市大  
埔中2301 南国市役所内広  
報委員会親子クイズ係

■答えのハガキには必ず、住所  
部落名・氏名・年齢・職業を書  
いてください。

■賞品・特賞千円〓三人、残念  
賞(記念品)〓五人

第145回正解者発表(敬称略)

(応募総数42通)

■答え・特選①点

■特賞・千円〓三人

久米百合子(久礼田)

山岡正典(里改田)

吉川武(久礼田)

■残念賞・記念品〓五人

田島敦(岡豊町)永田智佐子(左  
右山)宇田千晶(久礼田)松下  
征司(大地)本川仁美(岡豊町)